

第6次斜里町総合計画策定委員会 第3回部会長会議 記録

1. 日 時 平成25年2月26日(火) 18:30~21:00
  2. 場 所 ゆめホール 会議室 3
  3. 出席者
    - ・委員：委員長ほか、計9名
    - ・事務局：北総務部長ほか、計6名◇合 計：15名
  4. 結果要旨
    - 各部会の経過報告、第6次斜里町総合計画の策定方針(フレーム等)、アンケート内容について議論を行った。
    - 計画フレームについては、今回部会長会議で結論には至らなかったが、第5次斜里町総合計画のような形式ではなく、芽室町、江別市のようなフレームを想定している意見・部会が多かった。
    - アンケートについては、部会で議論された意見等を基に議論を行い、近日中に事務局にてアンケート案を作成し、部会長宛に送付し確認をしてもらう事になった。アンケートの配布については、配布1,500通中、各部会に40通を渡し委員が配布する個別配布も行う事となった。
  5. 結果詳細 下記のとおり
- 

1. 開会

2. 委員長挨拶

- ・ 今まで町長の考えや、山崎先生の講演を聞いて部会も2~3回行っており、総合計画のアウトラインのイメージが出来つつある状況だと思う。総合計画の形(フレーム)の絞り込みを早い段階で決めていきたい。本日は、部会の議論経過などをお話しいただきたい。アンケートについて議論を行いたい。

3. 経過報告

(1) 2/7研修会、第2回部会長会議の開催結果について

- 事務局より、会議結果記録(資料1~2)の説明を行った。
- 意見・質問なし

(2) 2/13~21に開催された各部会の開催結果について

- 各部長より部会の報告を行った。
  - みどり部会（第2回部会 2/18開催）
    - ・第5次の検証作業の中で、行政の評価が解りにくいとの意見があり、各委員もう一度読み直しを行い、次回部会にて議論する事となった。
    - ・総合計画のフレームについては、みどり部会は環境基本計画策定作業も担っており、総合計画の実施計画にあたる部分の議論をする事になるので、周りの部会の状況を見ながら、環境基本計画の議論で挙げた項目を抽出して総合計画の項目として挙げる事になるのではないかと議論になっている。
    - ・現状と課題についても同様に抽出して挙げる事となりそうである。
    - ・アンケートについては、設問欄に自由記載欄を設ける、問4・8を統合させて1つの問いにする、属性記入欄を冒頭に持ってきては、との意見があった。
  - しごと部会（第3回部会 2/14開催）
    - ・第5次の検証は、次回部会までに各委員が読みこんで、次回部会で議論を行う。
    - ・計画のイメージについては、しごと部会の分野は過去の総合計画の流れを見ても、幹となる部分は大きく変化していないので、今回も大きく動くことは無いであろうという事になった。また、芽室町の総合計画を読んでも、幹となる主要なところが明確になっているので斜里町も明確にする事を検討しても良いのではとの意見もあった。この議論の中において、「高齢者の活用」というキーワードが出た。あらゆる自治体が人口減少、生産人口減少になっていくので、人口問題も一つのテーマになるのではないかと意見もあった。総合計画の概要版の様なパンフレットも必要ではないかと意見もあった。
    - ・アンケートについては、問4・8を1つに出来ないかとの意見や、人口減少に伴って話題に挙がってきている、コンパクトシティの考えもアンケートに反映できないかとの意見もあった。今更どうにもできないが、アンケートの時期についても議論になった。
  - 暮らし部会（第2回部会 2/13開催）
    - ・フレームについては、イメージが湧かないという意見が多く、第5次計画の検証作業を進めながら検討していくしかないという結論になった。
    - ・第5次計画の検証作業は、行政委員に説明を受けながら、疑問点を質問しながら進めている。勉強会のような感じでもある。
    - ・アンケートについては、議論が出来ず、2/27の部会で議論する事となった。
  - いきいき部会（第2回部会 2/14開催 第3回部会 2/21開催）
    - ・第5次計画の検証作業について、多くの委員から作業に対し時間が無いといった意見が多く出ている。時間が無い中進めていく中で、次回部会より評価2以下の項目について議論する事とした。
    - ・アンケートについては、問4 17のカ所において、子育て支援（保育園・～）とあるがカッコ書きがあると、それ以外はどのようなであろうと邪推してしまうのでカッコ書きは削除して、また少子化対策の項目も盛り込んでほしい。
    - ・問4 18において障がい者（児）として欲しい。
    - ・問4 20 健康づくりの項目にカッコ書きで、生活習慣病予防 食事 禁煙 等

の記載が必要ではないか。

- ・問 6 6 「子どもを地域の中心にした」の記載を「地域の力で見守る」に変更した方が良いのでは。
- ・問 7 に関しては、若年層が共感を持てる項目、高齢者の視点の項目も入れた方が良いのでは。
- ・問 8 36 何を聞きたいのかが解らない。(医療費助成なのか、病院にかからない事なのか。)
- ・全体的に自由記載欄を設けた方が良いのではないかと意見が出た。
- まなび部会 (第 2 回部会 2/14 開催 第 3 回部会 2/20 開催)
  - ・計画フレームについては、町民がみて解り易いものでなければならない事、目標を数値化する事の意見が出た。
  - ・第 6 次計画検証作業については、一通り検証作業は終わり、今後細かい項目について行っていく。
  - ・アンケートについては、子ども、学生の意見を取り入れた方が良いのではないかと意見もあった。
  - ・議論の中で、第 5 次計画に挙がっていた自然大学について、行政側の考えを示してほしいとの要望があり、次回部会までに用意して欲しいと行政委員に伝えた。
- ちょうみん部会 (第 2 回部会 2/13 開催)
  - ・6 次計画のフレームについては、配布する事を考えると解り易いものでないといけないという結果になった。
  - ・アンケートについては、次回の部会 (2/27) に議論する事とした。
  - ・部会では、町外出身の委員の方もいるので、斜里町はどんな町であるかを議論した。例えば町民性については、協調性はあるが、保守的であり排他的である。知床の素材は良いが活用の仕方がもっとあるはず。斜里町にとって知床は扱いづらいのか等議論していき、斜里町はどのような町になって欲しいのかを議論を行った結果、「子供を産める環境で、死んで逝ける環境であって欲しい」という結論になった。また、個別の事案、ウトロの発展、活用についても議論した。
- まちなみ部会 (第 2 回部会 2/19 開催)
  - ・第 5 次計画の検証作業は、行政委員に説明をしてもらい進めている。勉強会のような感じである。
  - ・第 6 次計画のフレームについては、部会長会議等で決めて頂き、それに従うという結論に至った。
  - ・アンケートについては、まず全委員がアンケートに回答してみて、疑問点や改善点を出し合った。配布回収については、回収率を上げるためには、委員が直接配布を行った方が回収率は上がるので、直接配布を取り入れてはどうであろう、といった意見があった。

#### 4. 議 事

##### (1) 第 6 次斜里町総合計画の策定方針について

- 事務局より資料 4～5 について説明し議論に入った。
- 主な議論。
  - ・ 今日の部会長会議でフレームを決めてしまうのか。
    - 今日の部会では決まらないのではないかと。山崎先生も言っていたような基本構想、基本計画でいいのではないかと。5 次計画の検証作業の中で、継続や重要度の順位付けをしていくことで、フレームは見えてくるのではないだろうか。
  - ・ 5 次計画は、施策の内容まで細かく記述しており、6 次計画において施策が見えてこない違和感が有るのではないかと。
  - ・ 部会の議論にも出てきていたが、人口推移の捉え方で、フレーム自体にも影響が出るのではないかと。
  - ・ また今後行う、アンケートの結果次第でも、変わってくるのではないだろうか。
  - ・ フレームや総合計画策定に係る、行政の考え方を聞きたい。総合計画に係る行政案があるのか等。
    - 策定に係り、事務局においても議論した事項である。役場内の機関会議の議題にもした経緯がある。行政案を出せと言われれば、案を作って出すことは可能である。しかし、今回から策定委員方式で計画策定を目指しており、0（ゼロ）から、町民と一緒に作る総合計画である。現在は生みの苦しみを味わっているが、行政案をだす時期ではないという判断である。現在の苦しむ時期が大切であり、乗り越えて策定する事が大切である。行政案等はない。
  - ・ 部会長会議でフレームを決めて部会に臨まないと、差支える部会が出てくるのではないかと。
    - 5 次の検証が終われば、大半の作業は終わっているのではないかと。議論の中で、継続や項目統合等の議論が出るのではないかと。5 次計画から、ぜい肉をそぎ落とすようなイメージで。
  - ・ 資料等で配布されている自治体のような総合計画にするのであれば、斜里町の今までの総合計画のイメージから頭を切り替えないといけない。
  - ・ すでに部会では、芽室町や他の自治体のようにシンプルにしようと意思統一をしている。総合計画の記載の仕方はそれぞれであるが、説明や解説で噛み砕いて表現している自治体もある。第 6 次計画はシンプルにした方が良いのではないかと。時代背景も反映するためにもシンプルな方が良いのでは。（例 総合計画において最近のトレンドはシンプルであるという事）
  - ・ 5 次計画は、全ての事を盛り込んでしまっている。6 次計画では、重要度、優先度を考えて盛り込むべきである。
  - ・ 総合計画に載っていない事業は出来なくなっても、計画の記載の仕方で変わってくるのではないかと。具体的な事業まで記載してしまうと、行政も町民も計画にしがらみすぎて使いにくい計画になってしまう可能性がある。山崎先生も言っていたように、計画は使わないと意味がないので。
  - ・ 本日の部会長会議の目的とは。
    - 部会の進行具合、様々な共通認識形成のため。本日の議論で答えは出ないかもしれないが、議論を尽くす課程が大切であると思う。自治基本条例が出来た後の初

めの事業であり、今後もこのようななかなか進まない会議等が多くなっていくのではないか。

- ・ 今日の会議である程度の方向付けをしなければならないのではないか。
- まずは、5次計画の検証を進めながら、ぜい肉を落としていく作業（6次計画のイメージづくり）を行う。フレームは、部会の進行具合を見ながら決めていく事にしましょう。

## (2) アンケート調査について

- 事務局より資料 6 について説明し、部会報告で挙げたアンケートに関する事を再確認し議論に入った。
  - ・ 実施主体は策定委員会であるがその件についてはいかがでしょう。
    - 問題は無いが、幸福度に関する項目が入るのであれば、その内容も委員に示し、委員も理解していなければ直接配布時に質問等で困るのではないか。
  - ・ 総合計画に数値目標を入れる場合、再度指標の参考としてアンケートを行う予定はあるか。
    - スケジュール的に無理ではないか。
    - 指標化の数値の参考にアンケートを行う予定はないが、今後目標管理や現状把握のためのアンケートは行わなければならないとは認識はしている。数値目標を導入している他自治体は、何回も意識調査等のアンケートを行ってきている。素地があり、目標の指標化を行ってきている。
  - ・ アンケートの時期からして、資料 6 の調査の目的の「基礎資料とする」がかなり引つかかる。基礎資料ではなく参考資料なのではないか。
    - 基礎資料の捉え方はそれぞれあるが、0（ゼロ）からの資料が基礎資料とするか、50%達成時点での資料でも基礎資料であるかの捉え方の違いではないか。0（ゼロ）からの資料でないと基礎資料というわけではないと思う。
  - ・ 策定作業とアンケートのタイムラグがあるから扱いづらい面もある。
    - アンケート結果は様々なものが出てくると思うが、計画の幹となる部分は変わらないと思うので、アンケート結果が全てではなく、結果にしばられてもいいけない。今回のアンケートは総合計画の事前アンケートではないので。
  - ・ アンケートの間 8 17 公演と緑地帯 37 学校教育と学力向上 38 学校給食と食育別物を同一設問で聞いているので、片方は良いけど片方はダメな場合は評価しづらいのではないか。
  - ・ 属性質問を先に持ってきた方が、アンケートに入りやすいのではないか。
    - 最近のこのようなアンケートにおいて、属性質問は最後に持って起きているのが多いようである。
  - ・ 子ども（学生）もアンケート対象に入れてはどうか。
    - アンケート内容からしても、今回の内容で対象を広げるのは不可能ではないか。
  - ・ 子供向けのアンケートを検討してはどうか。
    - 今回の総合計画ではなく、別のアンケート調査（町民アンケート）の際には検討

する。このようなアンケートは単発で行っても大きな意味はなく、継続する事で、目標管理等の成果が出てくるので、継続調査の際には検討したい。

- この手の調査は、単発では、ただの数字であり継続する事でデータになるので継続して欲しい
- 問4と問8を統合した方が良いのではないかと  
→ 問4は満足度、問8は重要度をきいている。内容は重複しているが、現時点で項目を統一しても良いのかと思ひ皆さんに諮っている意図もある。皆さんが利用しやすいように、意見を出して頂きたく敢えてこのようにした思ひもある。他自治体は、生活に密着した設問だけの所もあるが、斜里町はまだ町民の意識の全体がつかめていないため、大きなくくりで聞いている面もある。
- 策定段階ではこの程度でも十分である。ただ、どこまで細かく聞いていいのかも解らないのが現状である。  
→ 細かく聞くのであれば、項目ごとに記載欄を作る事ぐらいで良いのではないかと。
- HP上でアンケートする方法はないか。  
→ 世界中から回答できてしまう事、年齢の偏りが出てしまう恐れがある。
- 全体的に項目、選択肢が多いので全て考えないでつけてしまう可能性がある。  
→ 問4と問8を結合させること、満足度を5段階評価、重要度を3段階評価、項目の縮小も検討いたします。案が出来たら、部会長が確認する事でよいか。(了承を得る)
- 問6の聞き方はもっとシンプルでいいのでは。「目指すべき斜里町は」では。  
→ 修正を検討します。
- 細かく聞きすぎて顕著な結果が出てしまうと、施策に反映するのかという問題も出てくる。
- 今回はこの程度で、初回調査で基礎資料となるので、次回調査から絞っていけば良いのではないかと。
- アンケートの配布方法はどうか。  
→ 回収率を高めるためには、直接配布するべきではないか。割り当てはどのようにするかが問題である。  
→ シンプルに部会に割り当てをする。1委員あたり5枚として1部会8人委員なので40通渡す事で良いのでは。  
→ 配布できない場合は、即座に事務局に戻す事にしましょう。委員がアンケートを抱えていることを避けるために。

### (3) 人口統計について

- 事務局から資料7について説明を行った。
- 特に意見・質問なし

### (4) その他

- 特になし

以上

第6次斜里町総合計画策定委員会 第3回部会長会議 出席者名簿

◇ 委員 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
委員長	三浦 勝利	○	
副委員長	門間 哲也	○	
みどり部会長	下山 誠	○	
しごと部会長	高橋 秀典	○	
まちなみ部会長	元木 誠二	○	
くらし部会長	戎居 桂三	○	
いきいき部会長	梅村真由美	○	
まなび部会長	近藤 将人	○	
ちょうみん部会長	武山 俊一	○	

◇ 事務局 ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考
総務部長	北 雅裕	○	
企画総務課長	渡辺 実	○	
企画係長	河井 謙	○	
企画係	竹川 彰哲	○	
企画係	塩 幸也	○	
企画係	玉井 佐耶加	○	

◇ オブザーバー ◇

役 職	氏 名	出 欠	備 考

◇ 一般傍聴 ◇

所 属	氏 名		備 考